

新任教授に質問！

今回は、2015年4月よりRBSに新たに着任された4人の先生方をご紹介します。既に授業でお会いされている方もいらっしゃるかもしれません、先生方のプロフィール・学生へのメッセージから伺い知れる先生の人となりから、秋学期の授業選択の参考にしてみてください。



立教大学院教授

諸藤 裕美

モロフジ ユミ

主な経歴

博士（商学）（一橋大学）。岡山大学准教授等を経て現職。日本原価計算研究学会理事などを歴任。主要著書は、「自律的組織の管理会計 原価企画の進化」（日本会計研究学会太田・黒澤賞、日本管理会計学会文献賞受賞）。



立教大学院教授

田中 道昭

タナカ ミチアキ

主な経歴

シカゴ大学経営大学院MBA。現在は、株式会社マージングポイント代表取締役及び東証ジャスダック上場企業・株式会社サダメツ取締役。三菱東京UFJ銀行投資銀行部門調査役・シティバンク資産証券部ランザクター（バイスプレジデント）、バンクオブアメリカ証券会社ストラクチャードファイナンス部長（プリンシバル）、ABNアムロ証券会社オリジネーション本部長（マネージングディレクター）、東京医科歯科大学医療経営学客員講師、グロービスビジネススクール講師等を歴任。

■2015年度担当授業（前期課程）

修了研究 1、管理会計 3

■専門・担当研究分野

管理会計論、原価計算論

■RBS学生に期待すること

ご自身が所属する企業で生じる問題に対して本質的な解決策を提示できる人となるべく、研究に励み、洞察力、論理的思考能力を身につけて下さい。

■人生を支えた究極の1冊

書籍ではないですが、Hiromoto, T.(1988),"Another Hidden Edge: Japanese Management Accounting,"Harvard Business Review.



立教大学院特任准教授

深見 嘉明

フカミ ヨシアキ

主な経歴

博士（政策・メディア）。株式会社電通リサーチにて情報通信サービス、マスマディア、自動車、IT機器の市場調査、プランディングに従事。その後World Wide Web Consortium (W3C) の標準技術普及活動に従事し、現在も政府・自治体・コミュニティにおけるオープンデータ技術の標準仕様策定、普及活動に従事する。

■2015年度担当授業（前期課程）

コーポレート・マーケティング、サービス・マーケティング 1/2、クリエイカル・シンキング、メディカル・ビジネス論、介護・ビジネス論、修了研究 3/4

■専門・担当研究分野

医療・介護ビジネス論やマーケティング戦略等の経営学領域全般を「戦略×リーダーシップ×マネジメント」等の多角的な視座から指導する。

■RBS学生に期待すること

問題意識や志をより高くして、幅広く様々なクラスを受講し、アーキテクト×モチベーターとしての力をつけていてほしいと願っています。自分のミッションやビジョン、在り方の目標を見出していくと、どのような科目を受講していくらいいかが自ずと明らかになると思います。夢や目標にあこがれ、学び合い、刺激し合い、成長し合っている人は、魅力を放っています。その姿に触発された人は、自らも学び、成長したくなります。そのような学生の象徴となることを期待しています。そして私自身も学生とともに学んでいきたいと思います。

■人生を支えた究極の1冊

修了研究 3/4（ビジネスリサーチ）、テクノロジーマネジメント 1/2、テクノロジーマーケティング、情報メディアビジネス論、ビジネスシミュレーション

■専門・担当研究分野

経営情報学、技術経営、プラットフォーム理論、標準化戦略、オープンイノベーション

■RBS学生に期待すること

ビジネススクールでは、マネジメントに必要なスキルセットを一通り身に着けるためのカリキュラムが提供されますが、単にスキルを身につけるだけではなく、知識をベースに高度な意思決定ができる理論構築・操作能力を身につけて欲しいと思います。私は「ゼネラリストのスペシャリスト」とは、様々な知識を正しく意思決定の材料として取り扱える能力であると考えます。

■人生を支えた究極の1冊

『Webの創成』(2001年) 毎日コミュニケーションズ



立教大学院助教授

安田 直樹

ヤスダ ナオキ

主な経歴

大手損害保険会社勤務、慶應ビジネススクール、慶應義塾大学大学院商学研究科後期博士課程を経て2015年度から本学勤務。博士課程在学中、Copenhagen Business Schoolに留学。

■2015年度担当授業（前期課程）

Business Case Studies、コンサルティング・メソッド、経営学基礎、修了研究

■専門・担当研究分野

マクロ組織論、経営戦略論、国際経営

■RBS学生に期待すること

明日使える知識は重要です。しかし、すぐに使える知識はすぐに役に立たなくなってしまうものです。是非、すぐに役に立たなくとも、将来に渡って使い続けられる物事の考え方や知識の習得を心がけてほしいと思います。

■人生を支えた究極の1冊

『燃えよ剣』(1972年) 新潮社